



# 市民が主役、それが仙台！！

仙台市議会議員(泉区)

# 野田 ゆずる

http://www.y-noda.net info@y-noda.net

令和5年第1回定例会  
議会報告



ご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せください。

《事務所》〒981-3190 仙台市泉区上谷刈3-7-29-D103 TEL& FAX022-739-9630 《自宅》〒981-8003 仙台市泉区南光台7-24-52 TEL& FAX022-251-2377

## 人に投資する社会実現を目指して！

日頃よりの厚いご支援、また、仙台市政へのご協力に感謝申し上げます。

世界中が苦しめられたコロナ禍から3年、昨年からはウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格の上昇や、食料品等の値上げなど、地域経済も疲弊している中、社会経済情勢は一層不透明さを増しております。

国は「異次元の少子化対策」と表し、子ども関連予算の増額を検討しております。遅きに失した感は否めないものの、少子化対策に本格的に力を入れ始めたことは歓迎したいと思っております。

私は、以前より「人に投資する社会実現!」を声高に訴えて参りました。そのためには、少子化や子育て支援、教育や雇用、社会保障など、人に関わる政策を中心に取り組むことが必要と考えております。

未来を担う子どもたちや若者には、安心して生活できる環境を整えることも大切です。人に投資する社会実現を目指し、すべての人々が生き生きと活躍し、自分らしい人生を歩める社会を共に築いて参りましょう。

今回のレポートは、一般質問で登壇した際の質問と答弁の要点などを記載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

今後ともどうぞ、よろしく願いいたします。



## 令和5年第1回定例会 野田ゆずる一般質問より (抜粋)

### 令和5年度市政方針について

野田時代の荒波が容赦なく襲う中、東北唯一の109万都市仙台が、さらなる高みを目指し、市長が果たす役割はこれまでも増して重いものがある。

本年は仙台が新たなステージへの第一歩を踏み出す「出発」の年となることを期待している。市政運営にあたる市長の気概と、心がけていきたい点は。

**答弁** 世界がアフターコロナへと走り出す中で選ばれる都市となるためには、既存

の枠組みを打ち破る発想により、厳しい財政ながらも未来に向けた投資を進めることが重要と考えている。※下記解説

DX(デジタル化)やGXなどの流れに対応しながら、学都の知の力や、豊かな都市環境などの個性を生かす政策を展開することが必要で、内外から選ばれる街を目指し、私が先頭に立って新たな一歩を踏み出していく覚悟です。

### 新年度予算と今後の財政運営について

野田時代の風を読み、未来志向の積極予算をまとめた市長のリーダーシップを評価するが、例年にも増して厳しい財政運営だ。どんな工夫で編成されたのか。

市長が示した、意欲的な政策を単発ではなく、継続するには多額の財源を要し、財政面の懸念を持たざるを得ない。

健全財政化に向けた道筋をどのように考えるのか。

**答弁** 基金借り入れや、株式売却益の計上といった特例的な収支差対策を講じ、歳入面も、例年にも増して活用可能な補助金の洗い出しや、未利用資産の売却益の計上などを行い、予算案編成を行った。

野田限られた財源の中で、様々な挑戦を進めるには、聖域のない見直しが不可欠だ。持続可能な財政基盤の構築に向け、どのように取り組んでいくのか。

**答弁** 持続的成長へと踏み出していくには、未来に向けた重要プロジェクトへの投資も行い、自律的な財政運営を図っていくことが求められる。

財政見通しを示した事は財政状況が厳しい旨を明らかにする一方で、今後の財政運営をどのように進めるべきかを示す意義のある取り組みで、今後、特例的な収支差対策も早期に解消し、持続可能な財政基盤の確立を図っていきたい。



令和5年第1回定例会一般質問に登壇

※GX(グリーントランスフォーメーション=化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革)

人口減少問題について

野田人口減少は、見方によっては災害以上で、サービスを提供する側、享受する側の双方に影響が出ることも確実だ。

想定以上で進む人口減少への危機感に総合的政策を打ち出していくべきだ。

答弁 活力を維持していくためには、地域活力の担い手となる、若い世代の定着を促していくことが不可欠であり、魅力ある雇用の場の創出や、高い付加価値を生む企業の集積を図り、子育て環境の充実に取り組まなければならない。

合わせて、新たな活力創出に取り組み、人や投資を呼び込むことが重要だ。産学官の連携を強め、地域の総合力を結集していきたい。



機能集約型市街地づくりについて

野田 これまでの実績を踏まえた課題と今後の見通しは。

答弁 現在までに4件の計画を認定し、

11月には第一号案件が完成を迎えるなど成果が現れはじめている一方で、仙台駅前再開発は事業化には至っていない。

民間投資を呼び込む環境を整え、賑わいや、経済活力の向上、再開発が連鎖的に展開していくよう努力していきたい。

野田 泉中央や長町など、都市計画上特別な位置づけのある地域では、都心再構築プロジェクトのように、規制・制限の緩和など立地誘導策をパッケージにし、大胆かつ積極的に進め、民間投資の誘導を図るべきではないか。

答弁 今後、地元によるまちづくり組織の構築など、これまで以上に市民や事業者と連携を強め、都市計画の見直しも視野に、民間活力も活かした都市機能のさらなる強化に向けて取り組んでいきたい。

野田 駅前再開発については、以前より何度も、何度も取り上げてきた。仙台・東北の顔となる駅前の再開発について、本気度が問われている。もっと積極的に取り組んでいかなければならない。

答弁 出来るだけ早期に具体化が図られる

よう努力していきたい。



東北の顔として再開発が期待される仙台駅前

市政の信頼回復について

野田 職員一人ひとりが前例踏襲にとらわれず、活発な議論を交わし、新しい発想や付加価値を生み出していく、組織風土を再構築していくことが、政策全般に血を通わせるのではないかと考える。

職員に響かせるには、直接語りかけなければならない。どんなメッセージを発信していくのか。

答弁 大きな変化に柔軟に対応し、未来を切り開く施策を推進するため、挑戦を重ねる組織への変革を進めることが必要だ。私としても、職員と直接対話する機会を増やし、意欲を引き出し、信頼回復に向けた意識改革と組織風土づくりに取り組んでいく覚悟です。

仙台市の将来人口推計によると、2028年をピークに減少に転じ、泉区では人口減少が最も進み、2070年には約半減となる推計です。

市街化調整区域の見直しを行うとともに、新たな土地利用で、まちを活性化させていくことが必要です。

泉区や長町などの副都心では、都心中心部のような「都心再構築プロジェクト」で規制の緩和や撤廃など、新たな民間活力を呼び込む施策が必要です。

Illustration of a man holding a sign that says '仙台にはまだまだ伸びしろがある！' (Sendai still has room for growth!). Another sign says '機能集約型の市街地づくりを！' (Functional concentration type urban development!). A third sign says '給食費は全額国費で無償にすべき！' (School lunch fees should be fully funded by the national government and free!).

学校ごとに給食費の差があると不公平が生じ、地域差を助長し、子供たちの学習意欲に影響を与える可能性もあります。給食費無償の政策は、地域差をなくし、不公平感を取り除くことで、子供たちが公平な教育の機会を享受できる社会を実現するためにも重要な施策の一つと言えます。是非、自民党が中心となり、給食費無償の財源を国費で賄うことを切望します。

市民の代弁者として活動して参ります！  
あなたの声をお聞かせください

料金受取人払郵便  
泉承局認  
3062

差し出し有効期間  
2025年4月30日まで  
切手不要

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)  
泉区上谷刈3丁目7-29  
D棟103

仙台市議会議員(泉区)

野田 ゆずる  
事務所 行

あなたの声をお聞かせください



Survey form with fields for name, address, phone number, and a questionnaire about city issues.

野田ゆずる プロフィール

1962年 2月9日 宮城県涌谷町生まれ 仙台市泉区南光台在住  
東北福祉大学卒業 (硬式野球部主将)  
1995年 33歳にて仙台市議会(泉区)初当選  
現在7期目(第51代仙台市議会議長等を歴任)  
47歳での議長就任は仙台市政最年少  
自由民主党宮城県連筆頭副会長 自由民主党仙台市連会長

東北福祉大学客員教授  
仙台歯科医師議員連盟 会長  
仙台市ソフトボール協会 会長  
宮城県ラグビーフットボール協会 副会長  
仙台市身体障がい者福祉協会 顧問  
宮城県仙台市理容・美容組合 顧問  
仙台市泉区野球協会 顧問  
仙台市建設業協会 顧問  
仙台市配水管工事業協会 顧問

仙台設備工事業協会 顧問  
仙台市泉電業協会 顧問  
仙台塗装業組合 顧問  
メッセ環境整備協会 顧問  
宮城県花卉商業協同組合 顧問  
宮城仙台青果商業協同組合 顧問  
仙台庭師会 顧問  
宮城県宅地建物取引業協会 顧問  
仙台中央卸売市場運営協議会委員 他

仙台の今、未来への責任！



一緒に語りましょう！

**野田** 人口減少は、見方によっては災害以上で、サービスを提供する側、享受する側の双方に影響が出ることも確実だ。

想定以上で進む人口減少への危機感に総合的政策を打ち出していくべきだ。

**答弁** 活力を維持していくためには、地域活力の担い手となる、若い世代の定着を促していくことが不可欠であり、魅力ある雇用の場の創出や、高い付加価値を生む企業の集積を図り、子育て環境の充実に取り組まなければならない。

合わせて、新たな活力創出に取り組み、人や投資を呼び込むことが重要だ。産学官の連携を強め、地域の総合力を結集していきたい。



## 機能集約型市街地づくりについて

**野田** これまでの実績を踏まえた課題と今後の見通しは。

**答弁** 現在までに4件の計画を認定し、